



45th CRC Seminar

春日 純 氏

寒冷バイオフィロントリア研究センター・生命適応機能研究分野
(フランス国立農業研究所・樹木物理生理研究グループ)

春日純氏は、今年4月から日本学術振興会・特別研究員として寒冷バイオフィロントリア研究センターに在籍していますが、現在はフランス国立農業研究所・樹木物理生理研究グループ (Clermont-Ferrand, France) において研究を行っています。今回は、春日氏がフランスで行っている研究について講演をお願いしました。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

樹木の越冬機構の解明

—凍結による道管内塞栓症の発生機構についての研究—

時間：2010年8月10日(火) 15:30~17:00

場所：農学部1号会議室(1号館2階)

植物における凍結は生細胞にとってストレスになるだけでなく、道管内水分の凍結による塞栓症の発生とそれによる水分通導機能の不全につながる。特に、巨大な体を持つ樹木にとって、塞栓症は個体の生存に関わる重大な問題となる。現在、私はフランス国立農業研究所の樹木物理生理研究グループ (INRA PIAF) において、アコースティック・エミッション解析と低温走査電子顕微鏡法を用いて、クルミ (*Juglans regia*) における凍結融解過程での塞栓症の発生機構に関する研究を行っている。セミナーでは、現在行っている研究の概要とこれまで得られた結果を紹介する。

問合せ先：上村 松生 (uemura@iwate-u.ac.jp)